



第57号

発行所
三軒屋駐屯地協力会
三軒屋駐屯地OB会

新年のご挨拶

三軒屋駐屯地司令
2等陸佐 石嶋 孝至



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新年のお
慶びを申し上げます。

昨年の出来事を振り返り
ますと、3月に岡山市南区で
発生した林野火災に伴う災害
派遣活動により観桜会が中止
となりましたが、8月のふれ
あい納涼盆踊り大会、11月の
駐屯地創立70周年記念行事
を開催でき、大きな節目の年
として地域の皆様方との触れ
合いが一層深まったと感じて
います。

また、駐屯地協力会、駐屯
地OB会、各協力団体等によ
るご協力、駐屯部隊各隊員の
活動により駐屯地を運営する
ことができました。

この場を借りて改めて深く
感謝申し上げます。

本年も戦後最も厳しく複雑
な安全保障環境は継続し、日
本周辺における中国、北朝鮮、
ロシアの活動はより活発化し
緊張の度合いを深めています。
これに対処するため防衛省と
しては防衛力整備を急速に進
めており、駐屯各部隊は能力
構築支援等を通じて同盟国・
同志国との信頼醸成を図ると
ともに、想定される事態に備
えて日々の訓練・業務に励ん
でいます。そうした国内外で
の各種事態に対応するため、
部隊活動を支援する基盤とな
るのが駐屯地であり、そのた
めの諸施設や業務等をより一
層充実させていきたいと考え
ています。また、地域の皆様
にとつてより親しみのある駐
屯地となるよう努力してまい
ります。

今年が皆様にとつて幸多い
年であることを祈念して新年の
ご挨拶とさせていただきます。

三軒屋駐屯地協力会
会長 杉本 滋



明けましておめでとうござ
います。

初春を迎えますますご清祥
のこととお慶び申し上げます。
平素は三軒屋駐屯地協力会
の活動にご支援ご協力を賜り
誠にありがとうございます。
昨年、高市政権に代わり、

三軒屋駐屯地OB会
会長 長川 良成



新年明けましておめでとう
ございます。

令和八年の希望に満ちた新
春をむかえられましたことを
心よりお慶び申し上げます。
三軒屋駐屯地ならびに所在
部隊の皆様におかれまして
は、旧年中も国防の要として
日々の任務にご尽力されまし
たことに、心より敬意と感謝

政治が、日本が大きく動いて
いるように感じているのは私
だけでしょうか。メディア、
ネットでも政治に関心を持つ
方が増えているとのこと。
非常に喜ばしいことだと思
います。また、自衛隊を題材に
した動画、写真をネットでも
良い評価として多く出ている
ように感じます。その中で、
お隣の国の理不尽な対応には
十分注視をしなければなりま
せんが、毅然とした態度で対
応する政府にも力強さを感じ
ております。ただ、その自分
衛隊の皆様方には一層の緊張
がもたらされているのにもか

を申し上げます。

昨今の国内外情勢は極めて
厳しさを増しています。

災害の激甚化や益々不安定
化する国際情勢、領域警備体
制の重要性の高まりなど、自
衛隊に求められる役割は一段
と大きくなっています。

その中で、現役隊員の皆様
は常に高い練度と強い使命感
をもって職務に当たられている
姿は、かつて同じ場に立った
者として大きな誇りです。

一方で、任務遂行の裏には
計り知れない負担や緊張が伴
うことも良く理解していま
す。二度とない今日を積み重
ねる皆様、身体も心も穏や
かに、安心して任務に向き合

れません。
本年も、皆様のご支援を賜
りながら、地元駐屯地の隊員
の皆様との連携を深め、安全で
安心な地域社会の実現に微力な
がら貢献してまいりたいと思
えております。

皆様のご健康とご多幸をお
祈り申し上げます、新年のご挨拶
とさせていただきます。



えるようOB会としてしっか
り寄り添い、これまで培った
経験と絆を生かし、三軒屋駐
屯地の支援と地域社会との連
携を一層強化してまいります。
同時に、会員相互の健康
と親睦を大切にし、いかなる
時も「国を思う心」を後世へ
つなげていきたいと考えてお
ります。

最後になりましたが、皆様
のご健康とご多幸そして安全
で実り多い一年となりますよ
う祈念し、新年のご挨拶と致
します。

本年もどうぞ宜しくお願
い申し上げます。

部隊長から新年の挨拶

第305施設隊長

2等陸佐 福田 浩之



新年あけましておめでとう
ございます。

旧年中は並々ならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。昨年、第三〇五施設隊は国連行事であるカンボジアにおけるUNTPP、能力構築支援任務を駐屯地協力会、駐屯地OB会、駐屯地所在部隊及び隊員ご家族の皆様のご理解とご協力により無事完遂することができましたことを重ね

第104施設直接支援大隊

1等陸尉 鈴木 卓



新年あけましておめでとう
ございます。旧年中は、駐屯地の皆様より温かいご支援と

て御礼申し上げますとともによ

き新春を迎えられましたのも、ひとえに皆様方からの暖かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

また、将来予期されている大規模地震や昨今の豪雨災害等への迅速な対応及び戦後最も厳しいといわれている我が国の安全保障環境下で抑止力となりうるよう、昨年までと同様に施設隊は、各種自然災害を含むあらゆる事態に即応できる部隊として実力を涵養するとともに精強な部隊を育成する所存でありますので、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬ暖かなご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

私は令和6年8月に第2直接支援隊に着任以来、国の安全を支える任務に携わりながら現場の声を大切に、一つの課題に真摯に向き合っておりま

第312基地通信中隊

三軒屋派遣隊長

1等陸尉 田上 一貴



新年明けましておめでとう
ございます。皆様から旧年中に賜りました多くのご支援ご協力に対し、心より御礼申し上げます。

旧年は、駐屯地の声の窓口である電話交換業務が音声応答になり、至らぬ点多々あったかと存じますがご理解ご協力頂きありがとうございます。

本年は、方面総監検閲受閲を一つの目標として臨んでいくとともに目まぐるしく変化するIT・情報通信分野に対応できるように一層努力してまいります。

鑽を重ね、部隊の練成を一層充実させ、隊員一人ひとりの練度向上と結束力の強化に臨んでまいります。

皆様にとつて希望に満ちた一年となりますことを祈念するとともに、引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本年の干支である午は、古

来より力強さと速さの象徴であることから前進や挑戦を意味する動物であるそうです。

隊員一同、力強く前進できる午が如く変化に恐れず新たなことに挑戦していく所存です。皆様にとつて飛躍の年となりますよう心からお祈り申し上げます。

第132地区警務隊

3等陸尉 田村 侑太



新年、明けましておめでとう
ございます。旧年中は、皆様からのご理解とご支援を頂き心より感謝申し上げます。

我々警務官は、防犯活動を含める保安業務、犯罪捜査等の司法警察業務の大きく二つを任務として職務を行う中において、昨年を振り返りますと三軒屋駐屯地では大きな事件・事故もなく、駐屯地に所在する皆様のご協力のもと、任務を遂行できたものであると強く感じております。

本年につきましても警務隊は、より一層三軒屋駐屯地の基盤を支える部隊として尽力

したいと考えております。

引き続き駐屯地の皆様の変わらぬご理解とご協力をお願いさせていただきますとともに、皆様にとつて良い年なることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

お困りの際は、警務隊へお立ち寄り頂ければお力になりますとともに、警務隊への職種変換にご興味がある方も是非お越し下さい。

表彰

令和7年度

関西補給処持続走競技会

駅伝の部 優勝

藤井1曹・相島1曹

加藤2曹・永幡2曹

岡林3曹



個人の部

総合1位 加藤2曹

50代(男)1位 藤井1曹

40代(男)3位 田中1尉

40代(女)3位 磯貝曹長

30代(男)1位 加藤2曹

30代(女)3位 綾野2曹

20代(男)2位 岡林3曹



年男・年女の抱負



警務隊 林 1曹

今年、私は年男という節目の年を迎えるにあたり、これまで支えてくださった方々への感謝を忘れず、陸上自衛官としてさらに成長していきたいと考えています。

日々の任務や訓練の中には厳しい場面もありますが、その一つひとつが自分を強くし、仲間との絆を深めてくれるものだと実感しています。今年、周りの隊員の力になれるよう、上級陸曹としてより丁寧な指導と互いに助け合える環境づくりを大切にしたいと思っています。

また、自分自身の健康管理にも気を配り、常に明るく前向きな姿勢で任務に臨むことで部隊全体の力の底上げに貢献したいです。

年男として迎える一年を、新たな挑戦を楽しみながら前へ進む年にしていきたいと思っています。



施設隊 端迫 3曹

明けましておめでとうございます。ようやく私の年が来たなという気持ちです。まず、この日まで何事も不自由なく健康に育ててくれた両親に感謝を述べたいと思います。本当にありがとう。これから

も長生きしてね。次に、新年の抱負といたしまして、令和8年は「継続は力なり」と致します。私事ではありますが、8月末から始めたダイエットが当初96キロから始まり、現在80キロです。本当です。この事から続けることの力を知り、部隊で活用できないかを考え、英語の勉強を続け、今年基礎英語教育に挑戦したいと思います。私はグローバルなサージェントになります。

最後に、話は変わりますが、昨年の5月に長男が生まれ、親に成らせてもらいました。すごく可愛い嫁と息子と今年も三人四脚で頑張っていこう



直支隊 二木 士長

私の今年の抱負は、2つあります。

1つ目は健康第一です。昨年は体調を崩すことが多く、中々本調子で仕事ができない日もあったので、今年は身体を大切にして健康に過ごしていきたいです。

2つ目は、仕事に慣れることです。私は以前までは整備をしていたのですが、現在は事務作業を主に行うようになりました。今までと違う仕事内容にまだ慣れていないところもありますが、少しずつ慣れていければ良いなと思っております。

今年健康に過ごし、新しい仕事にも慣れていけるように頑張っていきたいです。

衛生の小部屋

ハチマル
ニイマル運動



ここでは、衛生科隊員の知見をもとに、「健康と皆さんの生活」についてお話します。

海田市駐屯地、善通寺駐屯地 医務室の歯科診療助手を経験させていただきました。医務室 榎原2曹が、「8020運動」について投稿致します。「8020運動」をご存じでしょうか？あまり聞きなじみがないかもしれませんが、恥ずかしながらも私もこのフレーズ、当時歯科診療助手を担当した歯科医官からお聞きし、はじめて知りました。1989年に厚生省と日本歯科医師会が提唱とのこと。端的に説明しますと、「80歳になっても、20本以上の歯を保とう」という運動です。この運動の目的は、

- ① 自分の歯で食事を楽しむ
- ② 健康維持
- ③ 介護予防 です。

では、実現に向けての実際の取り組み方についてですが、次の通りです。

- ① 日頃の歯磨き
- ② 定期的な歯科検診
- ③ 正しい食生活
- ④ 早期の治療

以上4項目示されており、隊員の皆様におかれまして

「食」は大切な要素であることは言うまでもありません。人生を豊かに過ごす観点からも、歯は死ぬまで大切にしなければいけませんよね？病気で食事制限があること以外で、「歯がない」という理由だけで食べたいものが食べられないという事は、精神的に……辛く悲しいことです。皆様も「8020運動」、始めませんか？



駐屯地創立70周年記念行事



11月22日、雲一つない晴天のもと三軒屋駐屯地創立70周年記念行事を開催した。式典直後の装備品の展示では、普段見せる機会のない車両を披露。その後、ヘリコプターのホイスト訓練を展示した。ホイスト訓練では、ヘリ

コプターが着陸できない状況下での人命救助を展示し、臨場感あふれる様子に来場者も感嘆の声を上げていた。記念行事は多くの来賓・来場者に御来駐いただき、70周年という節目に相応しい、盛会の中終えることできた。



ヘリコプターホイストの様子



装備品展示



振動が山にこだました迫力満載の空包射撃

受賞者

関西補給処長 からの 感謝状



前列左より、長谷川様、駐屯地司令、セキュリティハウス代表小野様

三軒屋駐屯地OB会 田頭様

受賞団体

セキュリティハウス様

前防衛モニター 長谷川様 荒川様

受賞者

前オピニオンリーダー 比江島様

駐屯地司令からの感謝状
平素から我が国の防衛政策と自衛隊の活動に対して深いご理解を寄せられ、三軒屋駐屯地に対しご支援、ご協力をいただいた方々に、駐屯地司令から感謝状が贈呈されました。

駐屯地司令からの感謝状



12月 年末行事 司令から各部隊へ慰労の品を手渡し



10月 直支隊 教育訓練基盤構築ガス溶接作業の様子



8月 支処 新隊員後期教育「弾薬」

